問 公園除染による汚染物はどう処分するのか
答 最終処分が決定されるまで現地で保管

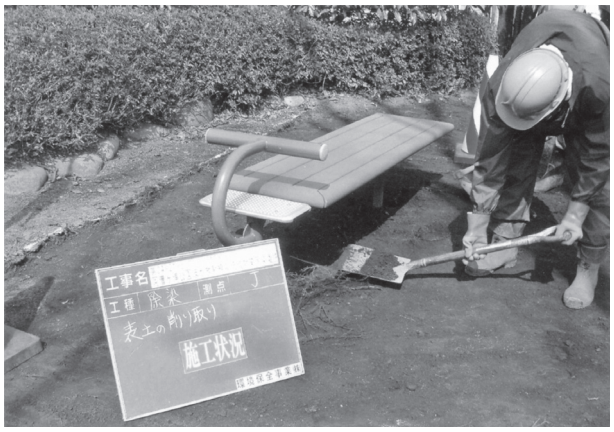
無会派　相沢　一正　議員

議員　公園の除染対策はどう進んでいるか。

経済環境部長　対象の7公園のうち、阿漕ヶ浦公園と平原第1児童公園は平均空間線量が0・23μSv以下なので村独自の予算で、高線量の部分のみ実施。村内業者の環境保全さんが受注し、12月27日契約した。他の公園は4月以降環境省に補助事業申請、1カ月ほどで補助決定が見込まれ、6月頃には発注する予定だ。除染は地表から5cmの汚染土の除去や、放射性物質が付着した草・落葉・堆積物の除去を行う。

議員　汚染物置場の設計等はどうなっているか。

経済環境部長　環境省は草、芝、落ち葉等は極力焼却処分し減容化するように指導している。それについては時期等も含めて検討する。土壌等は公園内に遮蔽（しゃへい）等を考慮した保管施設を設置し、最終処分が決定されるまで保管し、継続的なモニタリングや結果の公表等を行っていく。



除染作業

問 通学路の水はね対策・道路補修が急務
答 道路の現状を調べて適切な対応を考える

新政会　川﨑　和典　議員

議員　昨年3月に通学路の水はね対策について質問し、一部区間を実施してもらった。

村道0207号の原研通りから約300m弱の通学路の水はね対策として早急に応急手当をして、特に新入生が困らないようにしてもらいたい。

特に6月の雨期を迎える前に実施してもらいたい。

建設水道部長　震災の影響で道路沈下のひどいところは、一部対策を実施した。

未だ余震の影響もあり道路の沈下部分もあるので、雨天時に道路の現状を確認し、対応を考えたい。

議員　上級生になると水はねを予測してこうもり傘で防ぐ対応が取れるが、新入生は両手で持ちズボンと靴が水はねでずぶ濡れになっている。

雨天時に現場を良く見てほしい。

通学道路中央の水たまり